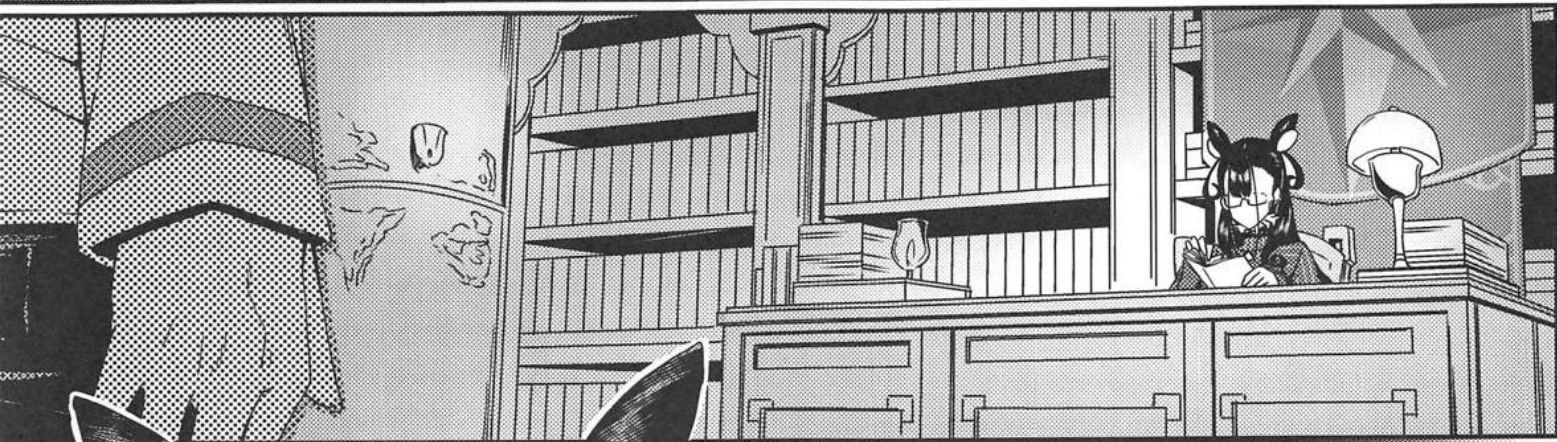


静読  
の  
後  
に

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



じろっ...

それではまた  
暇をつぶしに？

読書もせずに  
...ですか？



あらマスターさん



何かお探し物ですか？



えっ？

あっいや...

特にそういう訳  
ではないんだけど...



貴方は多くの英霊の主人

一人のサーヴァントに気を揉み過ぎるのはあまりよろしいとは言えません

ご心配なさらずとも今の私は本の虫ですから

本当は紫式部さんに会いたくて来てるだけなんです…

…紫式部さんは本当に本が好きなんだね

ええ勿論!

古今東西幾多の物語  
幾ら読んでも読み切れません

司書をさせて頂く事でその幸せを日々享受できるのも

ここに召喚されたからこそその僥倖…

英霊冥利に尽きますね!

紫式部さんが言った通り

彼女は多くのサーヴァントの一人で

俺はその英霊のただのマスターだ

この気持ちは彼女に伝える事は出来ない…

あっそういえばアンデルセン様が  
また新作を書いていらしていると  
いうことで完成したらこの図書館に  
寄贈してくださるそうですよ！

ここに居るだけで生前の作品  
だけでなく素晴らしい作家様方の新作を  
読む事が出来るなんて恐悦至極この上なく…

本当にあの方  
の作品は

ッ!!

あわわ…ッ!

も申し訳ありません!

ははっ

気にしないでっ



あっ

そういや  
紫式部さんは



何か新しい作品は  
書いたりしないの?

ッ



前に貴方は仰って  
下さいましたね…

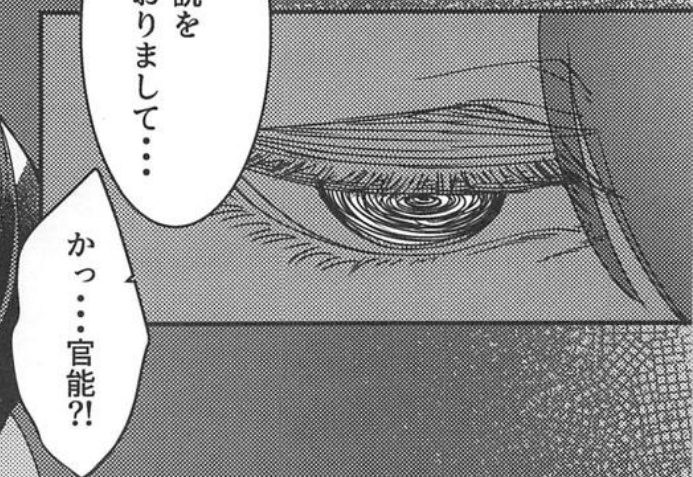
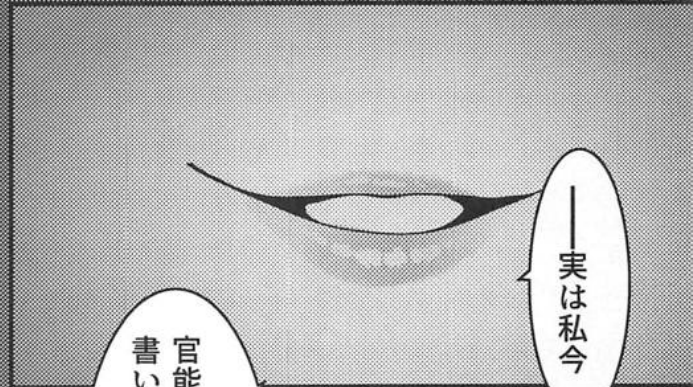
『アンデルセン様達のように  
書き直って新しいものを  
書いてみたら?』…と

…だから私も  
考えてみました

かつての香子

紫式部の陰である  
今の私から

どのような物語…  
詩が綴られるのか





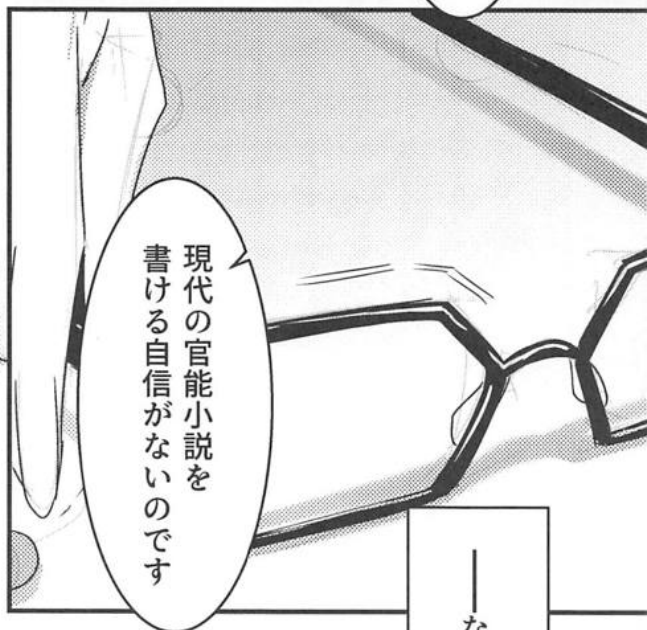
—ですのでインスピレーションを得るために



いかんせん私平安の女ですから



私考えまして—



現代の官能小説を書ける自信がないのです

—なんとというか



ッ!



いつもの紫式部さんの雰囲気じゃない…



マスター様

——私と夜伽を  
して頂けませんか？

なっ?!

ええ?!

おっばい……



式部さんのおっぱい柔らかっ  
……ってそうじゃない……ッ

えっ何ヨトギ……?!

夜伽って  
アレだよな……?

男女の……

式部さん一体  
どういうつもり……





—私とは嫌ですか？

っ……!

そっ…  
そうじゃなくて…ッ



自信が無い？

うっ…



それとも…

—想い人がいるとか…

ッ!!

ちょっと……

それってどういふ——

ふふ……大丈夫ですよ

貴方が私にどのような情欲を抱いていたのか

まるですべて見透かされてるかのよう……

二人で居る時ならば

——私しか知り得ません

いや……

そんな事するはずは無いと思って——

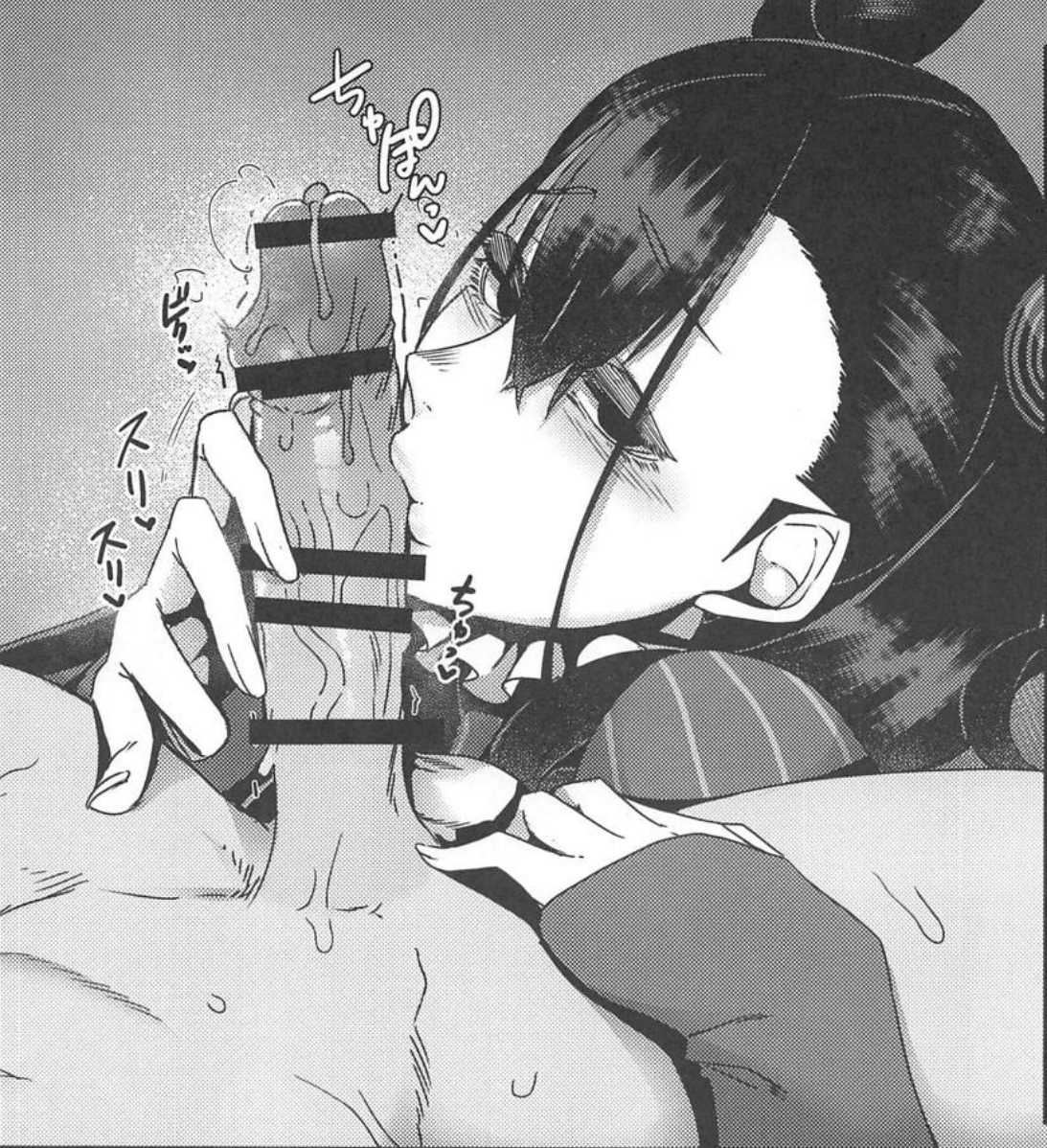
——申し訳ありません私

『良い子』ではありませんので……



ちりり...

ちりり...



ペナルティ

ちりり

スー...

ちりり



ちりり...

ちりり...

ちりり...



私の事幻滅  
しましたか？

ふふっ

どうですかマスター

いや...そんな事は—



唯の『静かに佇むだけの  
司書をする優等生の私』

マスターの想う…  
想って下さる私は



ふふっ

そうでしょうね

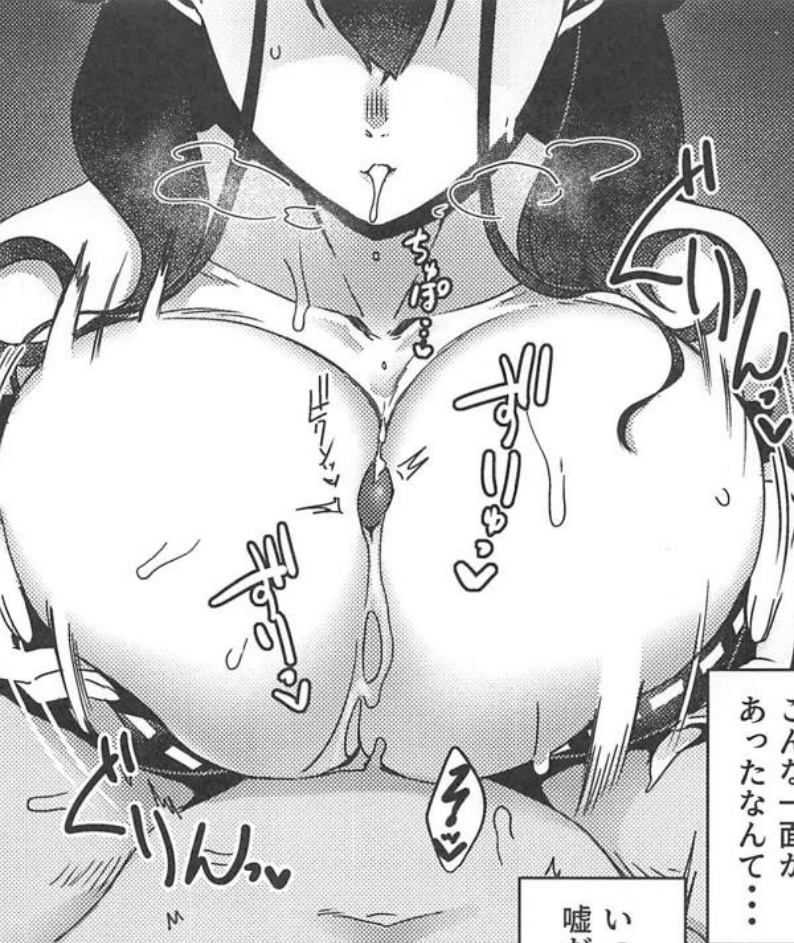


それが答えです

それでも貴方は  
ここに  
来ている

ちゅっ

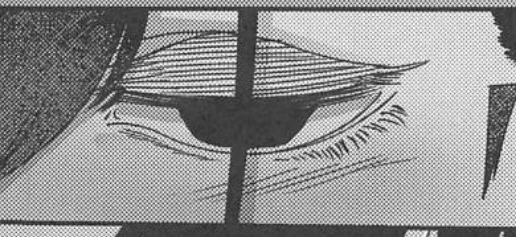
ははは



まさか  
紫式部さんに

こんな一面が  
あったなんて…

いつもの彼女は  
嘘だったって事…??



—いいえ嘘  
ではありません

いつもの私も  
今の私も

私であることに  
変わりありません

ただそれだけの  
事ですよマスター

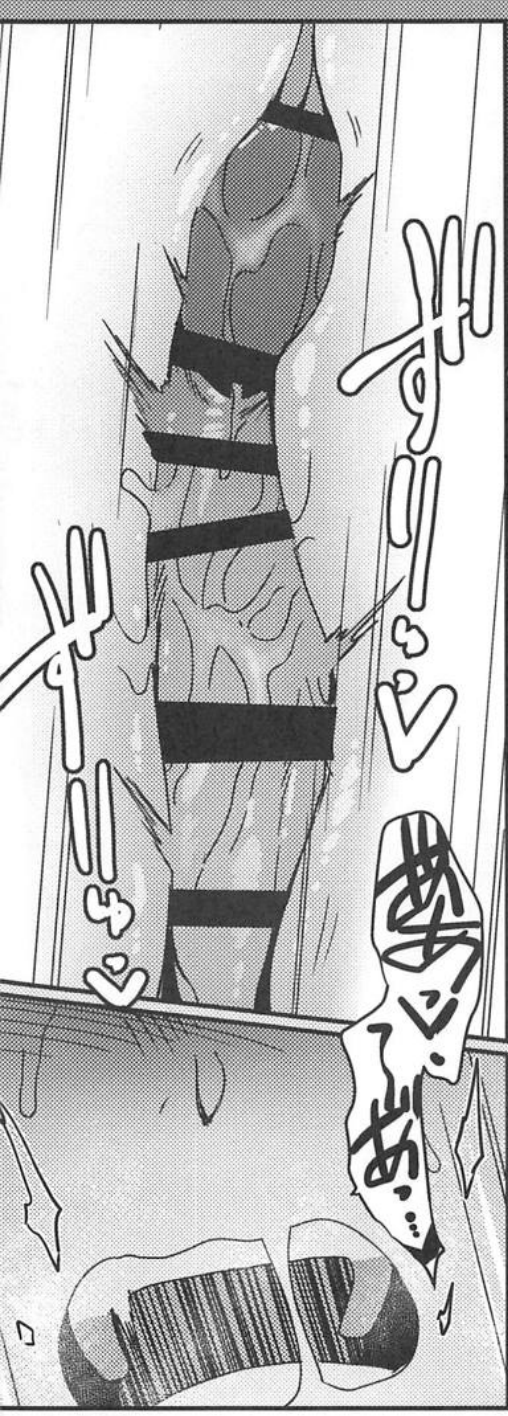
……



それより  
今は余計な  
ことは考えず  
楽しみましょう



ほら...  
今度は貴方の  
想うがままに  
してみてください  
↓





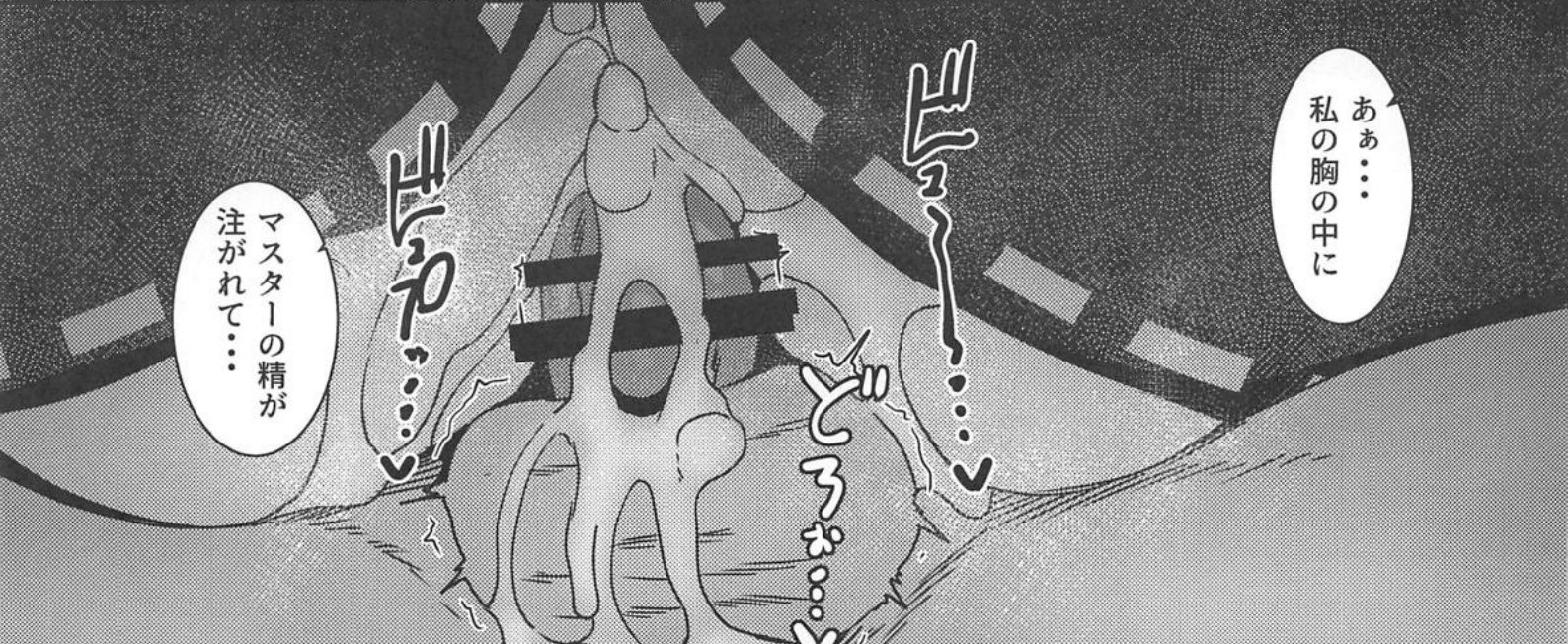
おっちゃん

うっ...クッ!!

おっちゃん

おっちゃん

おっちゃん



マスターの精が注がれて...

ああ...私の胸の中に

マスターの精が注がれて...

マスターの精が注がれて...

マスターの精が注がれて...





ふふっ…  
如何でしたか？

ああ…  
やってしまった



…何を簡単に  
流されてるんだ俺は

最低な  
マスターだ…



…



これからどんな  
顔して過ごし  
たら—

—…えええッ？！



何してる  
んですか!?



—何とは  
また余計なことを  
考えていらっしやる  
ようでしたので



手っ取り早い方  
が良いかと...



でもまだまだ心の  
準備...  
あっ

みち...

ああ.....っ



気持ち良っ……







—そんな顔を  
なさらないでマスター  
私は決して

貴方の気持ちを  
無下にしたいの  
ではありません



なんて愛らしい  
のでしょうか…

ああ…  
貴方が私に向けて  
下さるその好意

どうか私に  
全てを見せて…

恥じることは  
ありません…



香子...

私の事...は

香子と...お呼び  
下さる...っ

式部さん...っ

式部さん...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

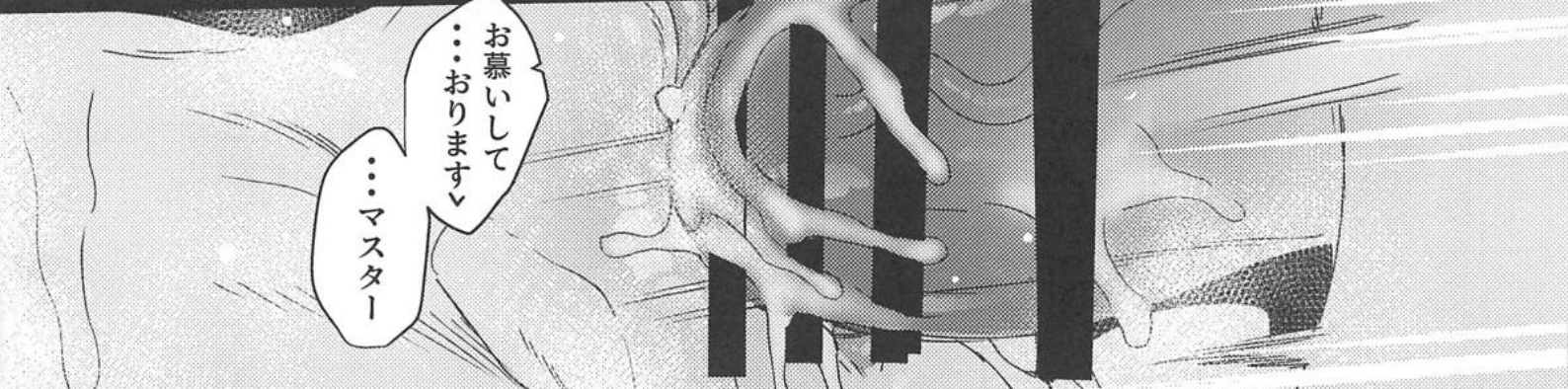
は...っ

は...っ

は...っ

は...っ

は...っ







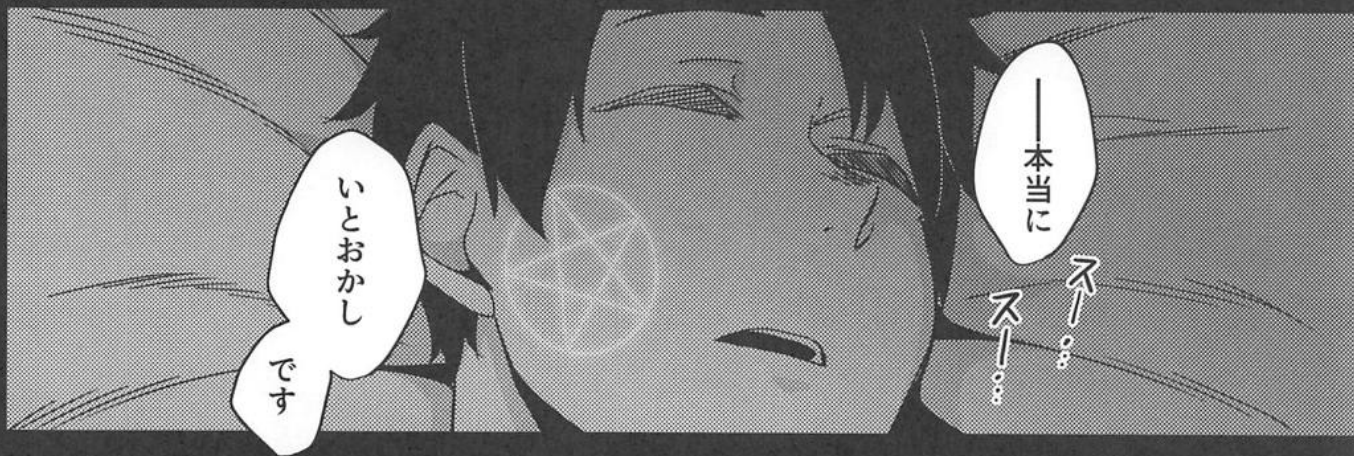


—人類を救った  
英雄でもなお

うぶ  
初心な少年のまま

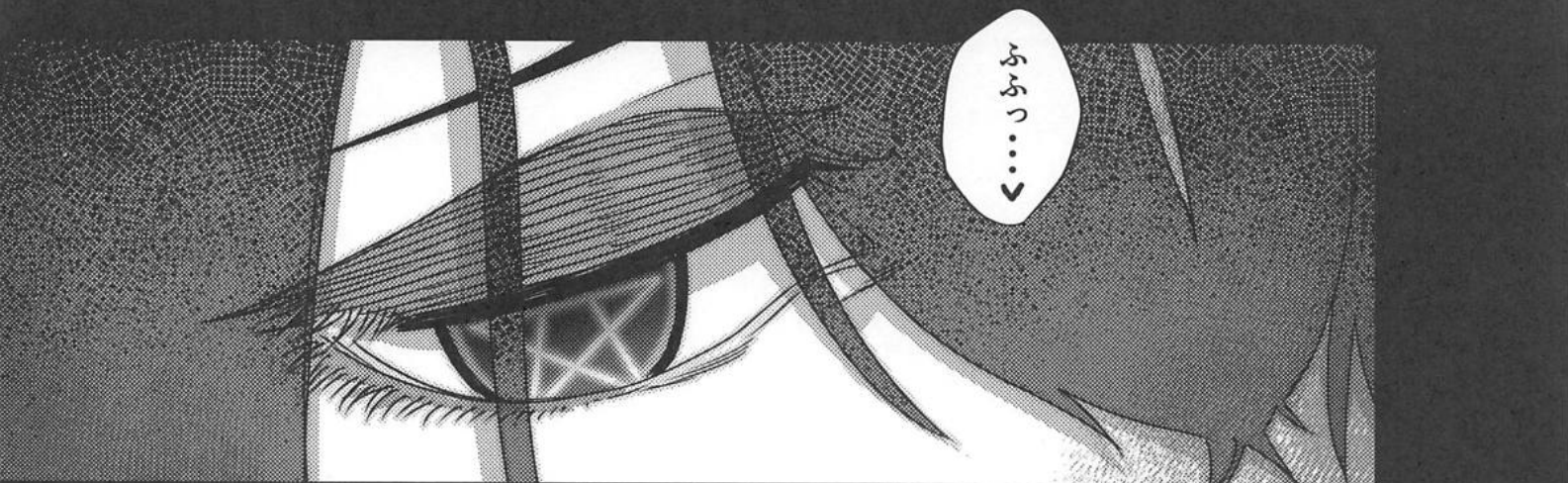
手中に帰する貴方の  
姿を眺めている方が

新たな詩を綴るより  
余程愉しきこと…



—本当に  
ス…ス…

いとおかし  
です



ふふっ…

## ■ 後書き

本誌を手にとって頂き有難う御座います。仲村レグラです。

今回の本いかがでしたでしょうか。

久しぶりの二次創作、紫式部最高ですね。

RALTA先生の巨乳ゴシック黒髪ロングハイライト無し黒目お姉さんとか最高ですね  
好きな要素しかない……

ただイベ内容的にキャラの掘り下げというかまだ分からない部分が多いキャラですね

正直あの見た目で紫式部なら結構闇が深いキャラを想像してたのですが  
マテリアルと絆礼装でほんつつつつの少し可能性がありそうな感じで

実際は読書好きあわわわパイセン司書お姉さんでしたね。

なので今回の本はぶっちゃけ紫式部好きな人には

どう見えるのか不安なところもあります

あの紫式部ならこういう悪い女な一面もある可能性も……みたいな感じで書きました  
まあ私がこういうの好きなだけとも言えますが！

まだ実装されて日も浅いですし当分は幕間来ないでしょうが

某リンボさんが実装された辺りで幕間で何か絡んできそう。  
もっと悪い部分も見せて欲しい見せてくれ。見せて(願望)

後聖杯もいっぱい欲しい好き鯖が増えるばかり。おっぱい

仲村レグラ

## 奥付

印刷:スズトウシャドウ

発行日:2019年4月29日

発行人:仲村レグラ

発行元:南方ヒトガクシキ

連絡先:reguraakamegane@gmail.com

本誌の無断連載及び18歳未満の方への販売は禁止しております



南方  
地獄